

## 平成 30 年度 表彰者紹介・授賞理由

### 木村賞

#### 神戸 敏成 氏（富山県中央植物園）

平成 6 年に着任以来、組織培養を用いた絶滅危惧植物の増殖・保全に関する研究や植物の収集・管理、イベントの立案・実施などにより植物園運営に大きく貢献した。また、長年日本植物園協会の植物多様性保全委員としての活動を行ってきた。

### 植物園功労賞

#### 辰尾 良秋 氏（富山大学薬学部附属薬用植物園）

36 年に渡り、薬用植物園において薬用植物の栽培を行なうとともに、学生実習や公開講座事業での指導、また薬用植物供給システム構築および新規薬用植物作出の研究に大きく貢献した。

#### 竹下 博文 氏（大阪市立大学理学部附属植物園）

32 年にわたり、熱帯・亜熱帯植物の温室栽培、保存に中心的な役割を果たし、これら植物の展示公開や園内ガイドを行なうなど、入園者サービスの向上や植物園の発展に大きく貢献した。

### 坂崎奨励賞

#### 林 寛子 氏（新潟県立植物園）

企画展示業務に積極的に取り組み、観賞温室内での大規模展示に主導的な役割を果たし、植物や園芸、緑化に対する普及啓発、花き園芸産業の振興、入園者拡大に貢献した。また、子供を中心とした教育活動に取り組み、主導的な立場で活動を行なっている。

## **Aboc・CULTA 賞**

Aboc・CULTA 賞は、特定非営利活動法人植物分類名称研究所 (NPO The Institute for Cultivated Plant Taxonomy) 及びアボック社からの寄付に基づき設立した賞で、植物園および関連施設における植物の学名や栽培品種名の適切な表示および利用の普及を振興するために授与するものである。(平成 21 年－30 年)

### **志内 利明 氏 (富山県中央植物園)**

20 年に渡りトカラ地域の維管束植物フロアの解明、植物目録の編集・発行および系統保存と展示で実績をあげ、また富山県中央植物園の植物登録データベースの構築と運用に大きく貢献した。

### **高知県立牧野植物園**

高知県植物誌編纂の事業拠点として活動し、県内外の植物愛好家や多くの県民ボランティアの協力のもと、2009 年に高知県植物誌を出版した。本事業を通じてふるさとの植物の多様性を把握し、園内の植物の正しい和名・学名を普及した。